

# 治山林道協会報



第40回治山林道写真コンクール **最優秀賞** 中田喜啓

目次

CONTENTS

- 第66回通常総会開催 … 1
- 林野公共事業予算に関する要望活動 … 3
- 令和6年度日本治山治水協会定時総会開催 … 5
- 令和6年度全国森林土木建設業協会定時総会開催 … 6
- 第36回施工委員会開催 … 7
- 令和6年度施工管理技術基本研修会開催 … 11
- 令和6年度「全森建」森林土木総合技術研修会に参加して … 12
- 第40回治山林道写真コンクール … 13
- 本協会の主な動向(4月~10月) … 13
- 編集後記 … 13

# 第66回 通常総会 開催



山口会長挨拶

受賞者は、巻末に掲載しています。  
す。(治山林道写真コンクールの  
簿は、次のとおりとなっております。  
介と徳島県治山林道協会の役員名  
なお、今回の各賞の受賞者の紹

ます。  
のご活躍・ご精励を御祈念いたし  
い申し上げます。今後益々  
受賞された皆様方に心からお祝

行いました。  
和五年度優良工事施工者表彰の治  
山部門・林道部門・森林整備部門  
の各協会長表彰、そして治山林道  
写真コンクールの入賞者の表彰を

第六十六回徳島県治山林道協会通常総会が、七月一日徳島市の徳島県建設センターにおきまして、関係者約九〇名の参加により開催されました。  
今年度の総会は、新型コロナウイルス感染症の五類移行後、二回目の総会ではありましたが、ご来賓として林野庁整備課長 土居隆行様、徳島県副知事 伊藤大輔様、徳島県議会議員 元木章生様をはじめ多くの方々にご臨席いただき、コロナ禍以前の状況に回復しました。  
冒頭で山口会長より、国土強靱化対策の次期計画に関する話題を交えた挨拶をいただいた後、議事につきましては、議案第一号「令和五年度事業報告並びに収支決算の承認について」、議案第二号「令和六年度事業計画並びに収支予算の承認について」、議案第三号「令和六年度借入金 の最高限度額の承認について」、議案第四号「その他」についてご審議いただき、いずれも原案どおりに承認をいただきました。  
また、議事に先立ち、林道維持管理を始め、治山林道工事等において功績のあった方々を表彰する式典が行われました。今回の表彰は、第四十六回林道優良維持管理者の協会長表彰、令和五年度優良工事施工者表彰の治山部門・林道部門・森林整備部門の各協会長表彰、そして治山林道写真コンクールの入賞者の表彰を行いました。



会長表彰



元木議長挨拶



伊藤副知事挨拶



土居課長挨拶

## 徳島県治山林道協会役員名簿

役職名	氏名	所属
会長理事	山口 俊一	衆議院議員
副会長理事	松浦 敬治	東みよし町長
//	西村 裕	徳島県建設業協会会長
理事	原井 敬	吉野川市長
//	加美 一成	美馬市長
//	河野 雅俊	神山町長
//	橋本 浩志	那賀町長
//	重清 佳之	徳島県議会議員
//	岡本 富治	徳島県議会議員
//	平田 茂	徳島県建設業協会 脇町支部長
//	岡村 純夫	徳島県建設業協会 川島支部長
//	榊野 千秋	木頭森林組合長
専務理事	井関 廣幸	事務局
監事	花本 靖	上勝町長
//	町田 寿人	阿波市長
//	多田 久仁男	徳島県建設業協会 海部支部
顧問	川原 哲博	前副会長理事

任期は令和5年度総会から令和7年度総会まで

## 第46回 林道優良維持管理者

### ○ 徳島県治山林道協会会長賞 最優秀賞

管理主体	代表者	路線名
那賀町	町長 橋本浩志	下司林谷線

### 優秀賞

つるぎ町	町長 兼 西 茂	赤帽子線
------	-------------	------

## 令和5年度 優良工事施工者

### ○ 徳島県治山林道協会会長賞 治山事業

三好市	(株)元木土建	元木啓悟
神山町	(有)司建工	森下隆司
那賀町	木沢建設(株)	西本日出世

### 林道事業

美馬市	(株)田村組	富川一也
上勝町	(株)川端建設	川端雅仁
海陽町	(株)谷田組	谷田勝良

### 森林整備事業

吉野川市	徳島北部森林組合	和泉隆啓
------	----------	------

# 林野公共事業予算に 関する要望活動

去る八月二十二日、農林水産省林野庁長官室において、山口会長、松浦副会長、西村副会長、そして橋本理事を始め施工委員会メンバーが、青山長官と小坂次長に対し、令和七年度当初予算に向けた林野公共事業の推進・拡充についての要望を行いました。山口会長は、国民の安全・安心な暮らしを実現す

る「治山事業」による「緑の国土強靱化」の推進、そして「グリーン成長」の実現を目指すために不可欠な「林道事業」の推進するために必要な当初予算の安定的かつ継続的な確保、及び補正予算のしっかりとした対応についての要望を行いました。これに対し、青山長官からは、「林野公共事業は

地方の山間部を元気にする事業であり、経済対策としての補正予算も含め、しっかりと取り組む。」との力強い回答をいただきました。  
また、森林整備部長室において、長崎屋森林整備部長、土居整備課長、河合治山課長らに対し、徳島県の森林土木事業の現状について説明するとともに、予算確保に向けた要望を行いました。  
更には、今回初めて内閣府地方創生推進事務局において、石坂局長に対し、本県林業の推進に不可欠な幹線林道整備を計画的かつ着実に実施するために必要な「地方創生道整備推進交付金」の安定的確保について、直接要望を行いました。

要望事項の内容  
は次のとおりです。



林野庁長官要望



森林整備部長要望



内閣府地方創生推進事務局長要望



## 林野公共事業予算に関する要望書

平素は、治山林道事業の推進並びに本会の活動につきまして、格別の御配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

コロナ禍に端を発したウッドショック、その後のウクライナ危機に伴った世界的な木材需給の逼迫が影を潜めた一方で、急激な円安基調が我が国の社会経済活動に大きな影響を及ぼし、森林・林業を取り巻く現状にも深刻さが増しているところです。

また、全国各地において、線状降水帯を伴う大雨や地震などによる山地災害が相次いでおり、多くの尊い人命や貴重な財産が奪われるなど、いづこでも大規模な自然災害が発生するのかが予想のつかない状況にあり、国民の安全・安心の確保に関する意識は、益々高まっているところです。

このような中、国におかれましては、「防災・減災、国土強靱化」や「林業の成長産業化」、「地球温暖化防止」等の対策を行う林野公共事業予算の確保に、迅速かつ継続的に取り組んでいただき、深く敬意を表します。

地方においては厳しい財政事情のもと、地方創生実現のため、国産材の安定供給体制の強化と森林資源の循環利用の確立など、森林・林業によるグリーン成長に向けた取組を一層強化することが喫緊の課題となっています。

そのため、大雨の激化・頻発化により激甚化する山地災害に備える事前防災・減災対策の推進や、効率的林業経営に向けた林道整備の加速化、更には花

粉症対策など、治山事業や森林整備事業の円滑な遂行が不可欠であります。

つきましては、令和7年度当初予算において、次の項目について特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を着実に推進するために必要な予算の確保、及び国土強靱化基本法に基づく次期対策を早期に策定し、切れ目無く計画的かつ着実に推進
- 台風や集中豪雨、南海トラフや活断層帯の地震による大規模災害に備える事前防災・減災対策、復旧対策の充実や強化など「緑の国土強靱化」の推進
- 「花粉削減・グリーン成長」の実現を目指す「林業の成長産業化」や「森林吸収源対策」、「地方創生」において最も重要な幹線林道を核とした路網整備の推進
- 山間奥地等条件不利地での現場条件に応じた適切な設計積算や昨今の資材価格高騰や賃上げを踏まえた適切な対応
- 中山間地域の安全安心や暮らしを支える建設業への若者をはじめとする担い手の就業に繋がる人材育成の推進

令和6年8月

徳島県治山林道協会 会長 山口俊一

## 地方創生道整備推進交付金に関する要望書

平素は、治山林道事業の推進並びに本会の活動につきまして、格別の御配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

コロナ禍に端を発した「ウッドショック」、その後のウクライナ危機に伴った世界的な木材需給の逼迫が影を潜めた一方で、急激な円安基調が、我が国の社会経済活動に大きな影響を及ぼし、地方の森林・林業を取り巻く現状にも深刻さが増しているところです。

この様な中、内閣府におかれましては、地域の実情に応じた地方創生に資する事業の効率的かつ効果的な実施を図るため、地方版総合戦略に位置付けられた取り組みへの積極的な支援について、深く敬意を表します。

さて、徳島県においては依然として厳しい財政事情のもと、林業を核とした地方創生実現のため、「生活環境の改善」はもとより、森林資源の循環利用に向けた林道整備の加速化による「林業経営基盤の強化」が喫緊の課題となっています。

さらに、切迫する南海トラフ巨大地震や激甚化する気象災害など、大規模災害の発生リスクが高まるなか、中山間地域をつなぐ林道は、集落の孤立化を防ぐ迂回路としての役割も期待されております。

これらに対応するには、地域再生計画に基づく持続的林業経営の実現に向けた林道整備の更なる推進や市町村道等と連携した一体的な整備促進など、計画的でより効率的な路網整備の推進と、安定した財源確保が不可欠であります。

つきましては、令和7年度当初予算において、次の項目について特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- 「地方創生道整備推進交付金」による林道整備を計画的かつ着実に実施するために必要な予算の確保

令和6年8月

徳島県治山林道協会 会長 山口俊一

# 令和六年度日本治山治水協会定時総会開催



日本治山治水協会定時総会開催状況



山口会長の挨拶



青山林野庁長官の祝辞

令和六年九月十一日、東京都千代田区のルポール麹町において、日本治山治水協会の令和六年度定時総会が開催されました。

はじめに、山口会長が挨拶に立たれ、「今年は元旦に能登半島地震が発生し、また豪雨・台風災害も相次いでおり、新たな気象条件下で災害の激甚化・頻発化が顕在化している。『国土強靱化5か年加速化対策』の予算措置もなされているが、まだまだ多くの山地災害危険地区があり、最終年度を迎える5か年対策のポスト対策が重要となるとともに、また『花粉症対策』においては林道整備予算の確保も重要となる。そのためにも、議連の予算要望活動や『治山・林道のつどい』開催により都道府県協会と一体となって年末の予算編成に向けて全力で取り組みたい。」との力強い決意が述べられました。

続いて来賓として出席された青山林野庁長官が祝辞を述べられ、「山地災害や林道災害の広域化・激甚化を踏まえ、治山林道整備を強化し、地域の安全・安心の一層の確保が図られるよう、林野庁としても林野関係予算の確保に全力で取り組んで参る。」と



四国地区協議会要望活動

のお言葉をいただきました。

続いて山口会長が議長に就任し、議案第一号から第五号まで全会一致で原案どおり承認されました。

また、総会に先立ち、治山林道四国地区協議会の幹部が一堂に会し、愛媛県協会の兵頭会長を先頭に、青山長官ほか林野庁幹部に対し、治山林道事業の推進に向けた必要予算の確保や各地域の実情に合った要望を行いました。

# 令和六年度全国森林土木建設業協会定時総会開催



定時総会開催状況



山藤会長挨拶



労働安全功労者 西森規夫氏

令和六年六月十二日、東京都内の霞山会館において、全国森林土木建設事業協会の定時総会が開催されました。

青山林野庁長官をはじめとしたご来賓参加のもと、総会が開催され、山藤会長の挨拶、青山長官らの祝辞の後、全議題とも全会一致にて、承認されるとともに、要望活動に向けた決議文が採択されました。また、令和二年から四年間にわたり専務理事に就任された川野氏のご勇退され、後任に江坂氏が専務理事に選任されました。

また、定時総会に先立ち、令和六年度「全森



受賞者記念撮影

建」表彰式が行われ、永年にわたり森林土木事業の発展等に顕著な功績のあった方々が表彰され、本県からは神山町の西森規夫氏が労働安全功績者として、山藤会長から表彰状が授与されました。誠にありがとうございます。

# 第三十六回施工委員会開催

第三十六回施工委員会が六月四日、徳島市の徳島県建設センターにおいて、開催されました。

徳島県からは金子森林土木・保全課長をはじめ、各県民局の代表者らが出席し、まず、県森林土木・保全課担当者から令和5年度の四国地域ブロックの要望事項に対しての林野庁見解、及び今年度の徳島県の入札・契約制度の改正点についての説明がありました。続いて県内各支部の改善要望事項について、各委員から説明後、県担当者から改善

に向けての回答がありました。

近年、技術面や施工歩掛・管理、工事環境、また入札・契約制度が変化する中で、その早い変化に対応できず、現場が非常に苦慮する事態が生じています。このため、当委員会において、現場の実情を共有する体制を整え、適正に対応できるよう進めてまいりたいと考えております。

令和六年度改善要望についての見解は次のとおりです。

## 令和六年度 改善要望についての見解

### 改善要望事項

#### I 治山・林道共通事項

##### 1 現場見学会や出前授業等「土育」への活動支援について

【三好、那賀】

令和5年度全森建の改善要望事項の林野庁回答において、人材育成に向けた環境整備への支援について、共通仮設費の中で工事に関連した「地域連携」の取組として、現場見学会の開催等の費用を計上可能とされているが、経費対象としての具体的事例及び計上の手法についてご教示願いたい。

##### 2 森林土木事業における、労務費補正等（担い手対策）について

【吉野川】

現在、担い手確保型工事では、現場の閉所状況に応じて労務費等に対して補正が行われているが、森林土木事業は一般土木事業と違い、山間奥地の施工条件が厳しい現場も多く、併せて現場作業員の高齢化も深刻であり、更には若手技術者・作業員の離職率も高くなっている状況である。

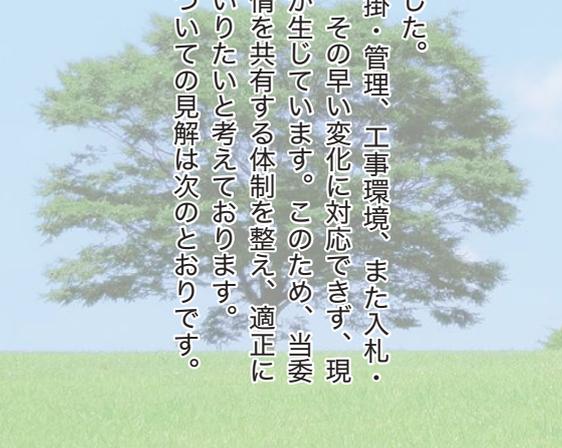
このため、森林土木事業における担い手の確保に繋がるよう、新たな補正率等の設定をお願いしたい。

##### 3 標準工期の設定について

【那賀】

工期の設定方法について、どのように行っているのかご教示願いたい。

### 見



### 解



現場環境改善費（令和5年度治山林道必携P108）を想定しておりますが、仮設備関係、安全関係、営繕関係、地域連携をそれぞれ実施する場合に、直接工事費等を対象とした率計上することとなっております。

「選ばれる森林土木」に向けて、森林土木工事の共通仮設費に、林野庁独自の補正率が上乘せされており、徳島県においても令和6年7月15日以降の指名通知又は入札公告を行う工事より採用しております。

今後も国に対して、更なる間接経費率の見直し等について要望を行って参ります。

標準工期の設定方法につきましては、準備日数+実工事日数+後片付け日数の合計日数により決定しております。

（工事日数 $\parallel$ 準備日数+実工事日数+後片付け日数）  
（実工事日数 $\parallel$ 実作業日数 $\times$ 不稼働日数割増係数 $\times 8/7 \times 1.1$ ）

#### 4 担い手確保モデル工事（週休2日）について

【美馬】

働き方改革により、令和6年4月より全工事週休2日を目指す取組が進んでいるが、工期の見直しについてご教示願いたい。また、工期の変更が無いのであれば、見直していただきたい。

#### 5 天候不順等による工期延伸の緩和について

【美波】

完全週休2日制に移行していく状況であると思うが、温暖化の気候変動による天候不順などの請負業者の責に帰すべき理由以外の場合は、工程管理する上で、契約上の工期内で雨天としてカウントされている休業日数を特記仕様書などに明記するとともに、工期延伸についてご配慮願いたい。

#### 6 地域間における発注件数の見直しについて

【美波】

美波管内の治山林道工事の発注件数が非常に少ない状況にある。当該工事は山間部という特殊性もあり、将来を見据えた時、若手作業員に現場経験を積む機会が少なく、災害等にて復旧事業を行う際には敬遠される工事となることも考えられる。このため、地域性や予算の関係もあると思われるができるだけ地域性を考慮した事業発注をお願いしたい。

#### 7 支障木の伐採について

【三好】

支障木については、県が所有者へ直接補償しており、伐採木については所有者の自由処分となっている。しかしながら、実情として工事施工業者の負担により玉切りから搬出まで実施しているのが現状であるため、玉切り及び搬出費用を設計計上出来るよう、検討していただきたい。

#### 8 支障木の集積作業における費用について

【那賀】

支障木の集積作業に係る費用の計上については、残土処理場や林業作業用施設（土場）等の設置において、広範囲に伐採木の集材作業を行う場合は集材費を設計計上する事になっているが、山腹工・水路工についても集材費を設計計上出来るよう、検討していただきたい。

#### 9 入札公告時の見積参考資料（PDFファイル）について

【美波】

県土整備部の入札公告時の見積参考資料については、積算ソフト（各社）にて資料を読み込んだ場合、資料に表示されている歩掛かり及び間接経費一式が読み

建設現場における週休2日の確保に向け、「更なる余裕のある工期設定」を行うため、週当たり1日程度割り増しする割増率1.1倍を、令和6年4月1日以降指名通知又は入札公告を行う工事より適用しております。また、後片付け日数についても、5日間延長し最低25日に変更しております。

特記仕様書への記載については、県土整備部をはじめ関係機関で統一した対応に向けた調整等が必要となり、個別工事での記載は困難ですので、ご理解をお願い致します。

なお、連続した天候不順にかかる工期延伸については、各現場毎に条件が異なってくるため、発注者と協議を行って下さい。

森林土木事業の内、林道事業については、各市町村からの申請により、また、治山事業については、保全対象の近接度合や山地災害危険地ランク、地元要望等を総合的に判断し優先順位を付け、限られた予算の中で、箇所選定を行っているところです。

新たな担い手や若手作業員の確保・育成については、喫緊の課題と認識しており、引き続き国へ予算要望を行い、要望にお応えできるよう努めて参ります。

工事に係る支障木の伐採費については、四国地区用地対策連絡協議会の単価に基づき設計しており、「伐採」・「玉切り」・「除却費」までがその範囲となっております。搬出費用につきましては、その支障木が個人の所有物であることから、設計の対象外としており、市場等への運搬費を設計計上することは困難ですので、ご理解をお願い致します。

先ほどの質問同様、「伐採」・「玉切り」・「除却費」までを設計に計上しております。

「除却費」は工事の支障とならないところまで除去すること。

【林道】の残土処理場の場合は、伐採の範囲が広いいため、これを除去しなければ工事の妨げとなるため、集材費用を計上しております。

【治山】の山腹工・水路工においては、その隣接地に除却が可能であることから、設計計上しておりません。

県土整備部と積算システムが異なるため当該事象が生じていると思われませんが、各事業者様において使用している積算ソフト個別に対応することは困難です。

込み可能である。しかしながら、農林水産部発注工事については、歩掛けの読み込みが一部できないなど積算時間に手間を取られることがある。

このため、見積参考資料（PDFファイル）を県土整備部と同等程度まで読み込みが可能となるよう改良していただきたい。

10 根株処理について

【三好】

根株処理において、根株状態でのチップ化（破碎）作業は、作業前に根株を細かく砕く工程が必要となる。しかしながら根株チップ化の積算では、破碎機とバックホウのみになっていると思われるため、根株を細かく砕く機械（キットカット）の工程を積算に追加していただきたい。

11 根株をチップ処理する場合の計上数量について

【那賀】

根株を中間処理施設へ搬出してチップ処理した場合、根株の重量で計上されているが、現場でチップ処理した場合、換算係数を掛けるため数量が減ってしまう。このため、現場処理する場合は、実数量で計上していただきたい。

12 コンクリート構造物における残置型枠の採用について

【美波】

コンクリート構造物の型枠設置については、間伐材等の利用促進に繋がるとともに、前面側は環境に配慮した見栄えが有効であり、かつ、背面側の狭い場所での型枠脱型作業時の安全性確保にも繋がると考えられるので、残置型枠の採用について検討していただきたい。

13 小規模土工について

【那賀】

小規模断面の水路工の現場などにおいては現場条件が厳しい所もあるので、0.1㎡バックホウを使用せざるを得ない現場もある。このため、小規模機械などの歩掛りも作成して頂くようお願いしたい。

II 治山事業

1 治山ダムにおける均し基礎コンクリートの施工について

【徳島】

令和4年度施工委員会において、均し基礎コンクリートの施工は必要と認められる場合は、可能との見解であったが、他の現場において工事検査官から支持力不足との指摘を受けたため、施工は行っていない。このため、再度県の見解についてご教示願いたい。

根株のチップ化については、治山林道必携に基づき、木材破碎機及びグラブプルにより積算計上することとしております。

前処理費用の積算計上については、実態を調査した上で、今後、その必要性を含め、検討して参ります。

現場での根株チップ化処理においては、根株の体積は換算係数に基づく数量で計上することとしておりますので、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

残置型枠については、治山ダム工や床固工施工時の上流側に設置を推進しているところですが、前面については、経年劣化等による残置型枠の剥離・流出による、下流域への影響が懸念されることから、現状では上流側のみ施工としておりますので、ご理解をお願い致します。

また、その他コンクリート構造物への残置型枠の採用につきましても、今後、全国的に利用が促進されるよう、国へ働きかけを行って参ります。

建設機械につきましては、現地状況や経済性を勘案し、選定を行っております。狭隘な現場においては、施工パッケージ型積算方式の土工により、0.1㎡バックホウ等、小規模機械も選定が可能となっております。今後も現場に寄り添った設計・積算となるよう、努めて参ります。

治山ダム工の工事において施工した均しコンクリートについて、しゅん工検査時に、支持力不足が指摘されているところですので、型枠工を設置するために均しコンクリートが必要な場合については、監督員と協議の上、必要最小限の施工として下さい。

## 2 残存型枠使用時の均し基礎コンクリートの施工について

【三好】

治山ダムにおける残存型枠の積極的な採用を希望するが、その施工要領書に型枠固定及び浮き止めとしてアンカー（差し筋）をとるように書かれている。1リフト目の型枠において、床面が岩盤であればいいが、土砂の場合は耐力がなく、打設時に型枠が押し出される可能性もある。このため、床面を10cmほど掘りし均しコンクリートを任意打設しているが、施工要領書に記述があるので、設計に組み入れていただきたい。

## 3 鋼製ふとんかごの施工について

【美馬】

鋼製ふとんかご施工箇所は土質の悪い箇所が多く、床掘後の床付けが非常に困難である。このため、必要に応じて基礎砕石等の計上をお願いしたい。

## 4 山腹水路の設計について

【那賀】

水路工の設計図は、平面位置等がより分かるような図面の添付をお願いしたい。

# III 林道事業

## 1 ロッククライミングマシン等の特殊な機械の運搬費の積算について

【美馬】

ロッククライミング工法を施工するにあたり、20t未満の機械運搬は共通仮設費の率に含まれるとされているが、特殊な機械のため県内に保有している会社がなく、県外からの運搬が必要となり諸経費以上の負担になっている。このため、実態を把握していただき、適正な運搬費の計上について検討をお願いしたい。

以上の改善要望事項18件につきましては、速やかに今後の事業執行に反映されることとなりました。

また、委員会後の意見交換会では、昨年度より実施している中山間地域における建設業の新たな担い手対策である「土育（つちいく）」の実施状況及び今後の予定について、活発な意見交換が行われました。

今後とも各支部からの要望事項については、改善に向けた課題解決を図るとともに、必要に応じ中央会の技術・労働委員会等を通じ、林野庁の関係各課へ要望を行って参りたいと考えております。



鋼製ふとんかごについては、フレキシブルな特性を有していることから、地盤の土質が脆弱な箇所で採用される場合が多くなっております。施工後、県の出来形管理基準の規格値内に収まらない範囲の沈下等が想定される場合につきましては、監督員と協議をしてください。

現場の施工性向上に向け、今後も努めて参ります。

運搬費については、治山林道必携に基づき、質量20t未満の建設機械の搬入費用は共通仮設費率に含まれることとなっております。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

# 令和六年度 施工管理技術基本研修会開催

施工管理技術基本研修会を令和六年八月六日に、美馬市穴吹町「清月屋敷」（メイン会場）及び徳島県建設業協会那賀支部（サテライト会場）において、開催しました。

本研修会は、会員の要望により、令和三年度から開催しており、治山林道事業に従事する若手技術者等を対象に、業務に係る基礎的な知識・技術等を習

得させることにより、施工管理技術の向上および現場の安全管理の徹底に資することを目的として実施しました。

昨年度と同様に、ZOOMを活用したハイブリッド形式を採用することにより、二会場同時進行で研修を実施した結果、過去最多の一一九名の会員等関係者が受講することができました。

また、受講者には全国土木施工管理技士会連合会の継続教育学習制度C P D Sの受講証明書（4



研修会開催状況（メイン会場）



研修会開催状況（サテライト会場）



ZOOM  
による  
配信状況

unit）が交付されました。  
研修の講師及び概要については次のとおりです。  
（敬称は略させていただきます。）

## 研修Ⅰ 徳島県における事前防災減災の 必要性について

徳島大学環境防災研究センター  
名誉教授・特命教授 中野 晋

能登半島地震により被災した施設の状況報告を行うとともに、事前防災減災の見地からハード対策のみならず、避難行動などのソフト対策と相まって成す事前対策についての基礎的知識・技術を習得する。また、徳島県と能登半島の地理的要因は類似しており、同様の災害が発生する可能性が高いため、その対応策を解説する。

## 研修Ⅱ 労働安全衛生について

三好労働基準監督署  
労働基準監督官 坂根 空

高所や急傾斜地での施工が中心となる治山林道工事において、労働災害ゼロに向けた危険予知活動等の基礎的知識・技術を習得する。

## 研修Ⅲ 施工管理技術について

徳島県農林水産部森林土木・保全課  
主任主事 蓮田 和也

治山林道工事を計画的に進め、品質の高い構造物を早く、安く、安全に作るために必要な施工管理の基礎的知識・技術を習得する。

# 令和六年度「全森建」 森林土木総合技術研修会に参加して

令和六年九月四日から五日までの二日間、東京都港区赤坂の「DAYS赤坂見附」会議室において、森林土木総合技術研修会が開催されました。

本研修会は、全国森林土木建設業協会が主催で、昨年度まではZOOMによるオンラインセミナー形式で実施されていましたが、五年振りに集合形式で実施されました。本協会からは二名の会員が受講しましたので、感想をいただきました。



榊小野組

小野 恭 補

私がこの研修会に初めて参加したのは、まだ駆け出しの若造で主に現場に向き、デスク作業は苦手としていた頃であり、今回は実に三十年ぶりの受講となりました。前回の研修の記憶はほぼ無いに等しいのですが、三十年の間には数多くの治山事業に携わってきました。治山事業の大切さや必要性は身をもって実感し、多くの事を学んできましたが、近年は様々な技術や工法が新しく導入され治山事業も変わりつつあると感じています。

私の住んでいる那賀町は、面積の九五%が森林であり、その森林を守るために治山事業があります。事業の内容としては山地災害の未然防止と被災箇所を復旧させるという大切な役割を担っています。また人命、財産を守ることもつながり、そしてそれは災害時に機能しなければ意味はありません。いかに良いものを作るのか、何のために作るのかを知る

ことが重要であるという基礎知識は、我々施工する者にとつての治山を知るに繋がるものだと強く感じました。

また、日本は国土の三分の二を森林が占める世界有数の森林国ですが、近年はその森林の荒廃によってもたらされる大規模な災害が問題となつていきます。森林の機能は水源かん養機能、土砂流出防止機能など多岐にわたりますが、適正な整備が図られていないのが現状だと思います。森林を整備し、環境を良好に保つためには多くの手が必要となり、それを効率的に行うためには林道の整備が必要不可欠となつていきます。また、林道は山間部に住まう人達にとつては、産業振興の推進エンジンであるとともに、災害時の代替路などインフラとしての役割も担っています。人口が少なく深く分け入った山奥に道を作るのは無駄だ、誰が通るのかと言われる事もありますが、誰も通らないような山奥の林道も、誰かが通る道なのです。治山林道事業は目立たない事業ではありませんが、国土を守るために必要な事業だと今回の研修を受けてその思いは、改めて強くなった気がします。

最後になりましたが、このような研修会を受講



させて頂いた、全国森林土木建設業協会に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



南建設機

南 幸 佑

この度、森林土木総合研修会カリキュラムを受講させて頂きました。普段何気なく仕事を受注し、施工している訳ではありませんが、この研修では基本的な事から最新の情報まで細部にわたり説明をして頂きました。

まず、治山の基礎知識からICTまでの説明があり、自分が特に興味関心を惹かれたのは「新・担い手三法の改正に伴う変化と対策及び多様な側面からの安全管理について」でした。時代が急速に変化する中、我々建設業界も変化が起きており、資格制度の見直し、帳票類の電子化、総合評価項目の変化など経営者目線でも満足できる内容でした。このご時世、紙で作成し提出するのはコストも時間もかかる前から思っていました。人材雇用が難しくなっている今、一人一人の生産性を向上しなければならぬという課題が立ちふさがり、それを解消するのがITなどの電子化だと思っています。

また、他県の総合評価の内容を紹介してくださり、協会を通じて打診できる評価制度も提案できると考えております。その他にも「森林土木事業の推進に向けて」、「日本の路網技術について」、「新土木工事と会計検査について」、「ICT活用について」など現場監督員が受講しても有意義な時間だと思っております。

最後になりますが、この貴重な研修を受講させて頂き、全国森林土木建設業協会には感謝しております。これらの知識を自分の会社だけではなく、協会会員や自分の地域の会社へと展開し、少しでも建設業界が発展、成長することを望んでおります。二日間と短い期間ではございましたが、ありがとうございました。

# 第40回治山林道写真コンクール

「第40回治山林道写真コンクール」を開催しましたところ、県内在住の幅広い年代の方々から、会心の作品を121点ご応募いただきました。大変ありがとうございました。

このコンクールは、森林が持つ、「水を育み・災害を防止する」などの公益的機能を維持増進するために実施している治山林道事業をPRするものです。

去る6月7日に、県庁森林土木・保全課担当をはじめとする審査員により、厳正な審査の結果、上勝町の中田様の作品をはじめ9点が入賞し、本協会の通常総会において、表彰式が執り行われました。受賞された皆様方に心からお祝い申し上げます。



審査状況

## 入賞者

### 最優秀賞【1点】

上勝町 中田 喜啓

### 優秀賞【3点】

徳島市 野口 美佳

三好市 谷内 亮太

つるぎ町 板谷 富吉

### 佳作【5点】

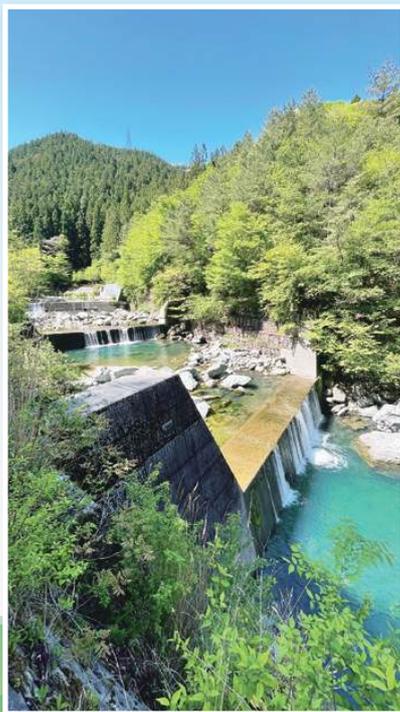
阿南市 市谷 敏和

神山町 河野 真二

神山町 山田 公彦

美馬市 石崎 茂

徳島市 丸田 泰史



優秀賞 野口 美佳



優秀賞 谷内 亮太



優秀賞 板谷 富吉

## 編集後記

今年は、元旦の能登半島地震に始まり、予測不可能な進路の大型台風の来襲やそれに伴う線状降水帯の発生などにより、災害は激甚化・頻発化しており、県土の強靱化による防災減災対策は待った無しの状況にあります。

このような中始まった令和7年度林野公共事業予算の概算要求については、森林整備と治山の両事業ともに、対前年度比では18.8%増で、限度額いっぱい要望となっています。

また、昨年度同様に「国土強靱化のための5か年加速化対策」、「T P P対策」等に係る経費については、事項要求として「予算編成過程で検討」することとなっており、経済対策としての今年度補正予算を含めて議論されると思われます。

今後とも、本県の治山林道事業の予算拡大に向け、中央協会等と連携の上、十分気を引き締めて取り組んで参りたいと考えておりますので、会員の皆様方のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

編集責任者 井関 廣幸

## 本協会の主な動向（4月～10月）

- 5月 23日(木) 令和6年度治山・林道四国地区協議会(松山市)
- 6月 4日(火) 第36回施工委員会(徳島市:建設センター)
- 7日(金) 第40回治山林道写真コンクール審査会(徳島市)
- 12日(水) 令和6年度一般社団法人全国森林土木建設業協会定時総会
- 28日(金) 令和6年度公益社団法人徳島森林づくり推進機構通常総会(徳島市)
- 7月 1日(月) 令和6年度徳島県治山林道協会 第1回役員会
- 第66回通常総会(徳島市:建設センター)
- 8日(月) 令和6年度とくしま木づかい県民会議通常総会(徳島市)
- 25日(木) 徳島県山地防災ヘルパー連絡協議会 第28回役員会議
- 30日(火) 令和6年度徳島県森林協会通常総会(徳島市:ホテルクレメント徳島)
- 8月 6日(火) 令和6年度施工管理技術基本研修会
- (メイン会場:美馬市「清月屋敷」)
- (サテライト会場:徳島県建設業協会那賀支部)
- 22日(木) 林野公共事業予算に関する要望活動(東京都:林野庁ほか)
- 9月 4日(水)・5日(木) 令和6年度「全森建」森林土木総合技術研修(東京都)
- 11日(水) 令和6年度一般社団法人日本治山林道水協会定時総会(東京都)
- 治山林道四国地区協議会要望活動
- 10月 3日(木) 全国治山林道協会会長会議(秋田市)
- 4日(金) 〃 現地視察(仙北市)
- 8日(火) 令和6年度土育出前授業(三好市:東祖谷小中学校)
- 22日(火) 令和6年度治山林道技術研修会(西部会場)
- 23日(水) 〃 (東部会場)
- 24日(木) 〃 (南部会場)
- 26日(土)・27日(日) とくしま木づかいフェア2024(板野町:あすたむランド徳島)